

① Int. Cl.  
B 60 t 1/04

② 日本分類  
80 E 4  
80 E 9

③ 日本国特許庁

④ 特許出願公告

昭49-9850

## 特 許 公 報

⑤ 公告 昭和 49 年(1974) 3 月 7 日

発明の数 1

(全 3 頁)

1

⑥ 自動車における自動強制制動装置

⑦ 特 願 昭 4 3 - 3 8 4 3 2

⑧ 出 願 昭 4 3 ( 1 9 6 8 ) 3 月 2 9 日

( 前実用新案出願日援用 )

⑨ 発 明 者 出願人と同じ

⑩ 出 願 人 齋藤権三郎

北見市桜町 1 2 2

⑪ 代 理 人 弁理士 川崎靖夫

### 図面の簡単な説明

図面は本発明の一実施例を示すもので、第 1 図は装置全体の構造を略図的に示す側面図、第 2 図は作動状態を略図的に示す側面図である。

### 発明の詳細な説明

本発明は新規な自動車における自動強制制動装置に係るものである。

従来厳寒な降雪地方における路面は、所謂アイスバーン状態となり自動車の発進、停止、特に非常制動は極めて危険このうえなく、かつこのために多くの人身事故が起きていることはよく知られているところである。しかるに、これらの問題に対しての対策はチェーンの装置、スノータイヤ、はたまた道路に散布用砂を配置し、必要に応じてこれを使用すると言うようなことが行われている。しかしいずれもその効力完全でないと共に、手間がかかるなどの問題がある。

本発明はかかる事態にかんがみなされたもので、以下図面を参照しながらその一実施例の詳細を説明する。

2

1 より突出せしめた腕 2 B と連結されている。上記ベタル 2 はブレーキベタル B の下位置に突出せしめられている。3 はたとえば自動車のチューブを利用した圧縮空気が収納されているタンクで、  
5 上記ロッドに枢着され該ロッドの摺動によつて開閉する三方コック 3 A を介して、排気管 3 B が引出され、この管 3 B は後述の砂収納タンク 4 の散布管 4 A 内で下方に向け開口している。左右後輪の前面位に設けられた上記砂収納タンク 4 は上方  
10 にホッパー形式の砂収納部 4 B と、これより垂下せしめられているパイプ状の散布管 4 A からなり、この散布管の下方部分 4 A' は蛇腹方式になつており屈曲自在に構成されている。

5 は左右前輪の前面に設けられているゴム、チェーンなどよりなるチェッカーであるが、使用しない場合は上記ロッド 1 の前端より突設された略 L 字型腕 5 A によつて係止され、上記ロッド 1 の移動運動によつて腕よりはずれ、上記前輪の前  
15 位置に張設されるよう構成されている。

なお、上記ロッド 1 は上記腕 5 A の突設位置附近で、たとえばねじ 1 B で中空の軸 1 C と内部の軸 1 D を止める方法などによる連結金具 1 E によつて連結自在になつている。また 6, 6 A, 6 B は上記ロッド 1 をたえず後方に引つづけているもの  
20 としねである。7 は一端が散布管の先端部分に固定されている復元簧であるが、その他端は運転席附近に達しており、これの操作より上記散布管の蛇腹部分を屈折せしめることができる。

ついで本発明のものの使用方法を効果と共に説明する。

BEST AVAILABLE COPY

(2)

特公 昭49-9850

3

4

部分4Aを開放し垂下せしめる。このため砂収納タンク4内の砂は、圧縮空気の噴出にみちびかれながら後輪の前面に散布されることになる。そして、ペダル2を開放するとロッド1はもとしばね6, 6A, 6Bの働きによつて後方へ移動し圧縮空気の噴出をとめる。また、非常制動は必要ないが発進、停止、滑走防止などの場合に、ブレーキペダルとは関係なくペダル2だけをふみ込むことによつて砂の散布を行いうることは当然である。特に、本発明のものによれば運転者が通常の状態10でブレーキペダルをふめば、公知のブレーキが、作動し緊急時にしかも無意識に通常より強くブレーキペダルをふむとこんどは、ペダル2が押圧され砂の散布を圧縮空気により強制的に行うから、路面にまんべんなく砂が飛散し効果的なスリップ15防止の作用を営むことができる。

このように本発明のものによれば、冒頭に述べた如き問題をことごとく解決できるほか、構造が簡単なものになつてゐるから故障が少なく安価な量産に好適と云う副次的効果をもあわせ有する極めて有用な発明と言うべきものである。20

#### ㊤特許請求の範囲

1 取付けられるべき自動車の前後方向に摺動自在にロッド1を張設し、上記ロッド1の最後端部には散布管の蛇腹部分4Aを支持するL字型屈曲25

部を形成し、上記ロッド1には適当角度をもつて腕2Bを突出せしめ、この腕2Bには側面略L状の揺動杆2Aを連結し、上記揺動杆2Aの先端には公知のブレーキペダルBの下方位置になるようペダル2を設け、上記ロッドの後方部の上方位置すなわち取付けらるべき自動車の後輪部分にはチューブなどを利用した圧縮空気を収納するタンク3を設け、このタンク3には上記ロッドの摺動によつて開閉するコック3Aを介して排気管3Bを連設し、この管3Bを砂収納タンク4の散布管4A内で開口せしめ、上記タンク3の後方部には上方がホツバ形式の砂収納部4Bとこれより垂下せしめた散布管4Aからなる砂収納タンク4を配設し、上記散布管4Aの下方部分4A'は屈曲自在に構成され、さらに、取付けらるべき自動車の左右前輪の前面にゴムなどを素材とする板状の制動板5を上記ロッド1の前方部分には折りまげた上記制動板の先端を係脱する略L字型腕5Aを突設したことを特徴とする自動車における自動強制制動装置。

#### ㊤引用文献

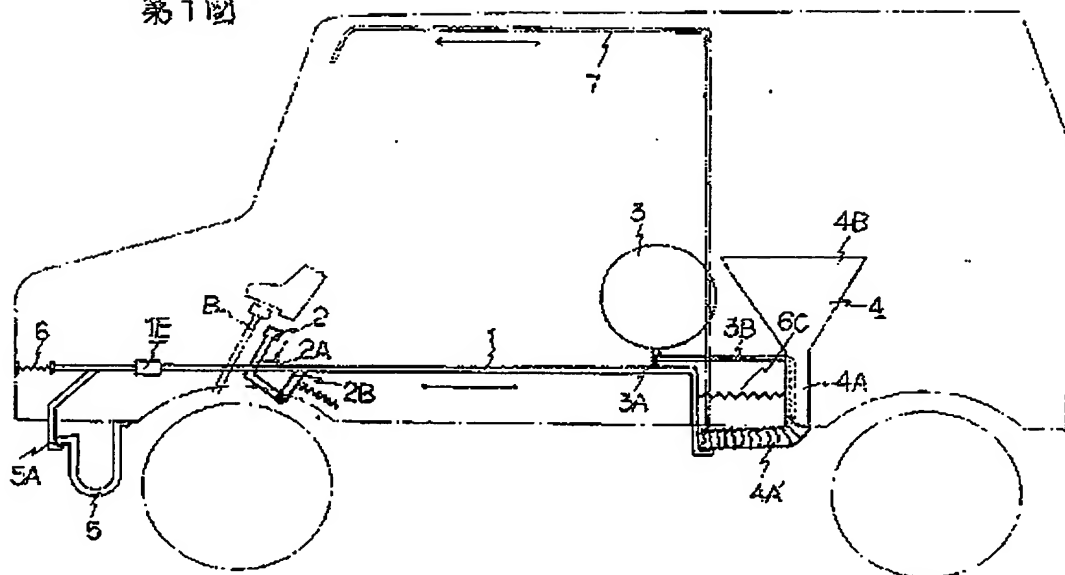
特 許 122095

BEST AVAILABLE COPY

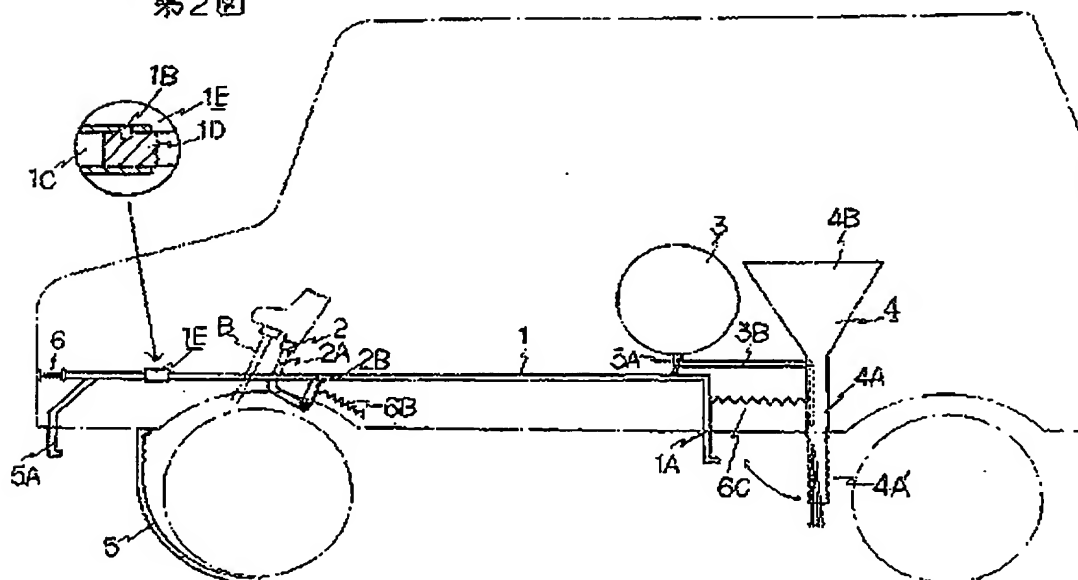
( 3 )

特公 昭 4 9 - 9 8 5 0

第1圖



第2回



NOT AVAILABLE